令和2年

東京二十三区清掃一部事務組合議会

決算特別委員会記録

令和2年9月29日

東京二十三区清掃一部事務組合議会

令和2年東京二十三区清掃一部事務組合議会決算特別委員会会議録 目次

期日	1
場所	1
出席委員	1
欠席委員	1
出席説明員	1
出席議会事務局職員	2
議題	2
開会	3
議題 1 正副委員長の互選について	3
議題 2 認定第1号 令和元年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について	4
内容説明（中尾正巳総務部長）	4
質疑（小林たかや委員）	7
答弁（古舘 陽総務課長）	7
質疑（小林たかや委員）	7
答弁（古舘 陽総務課長）	7
質疑（小林たかや委員）	7
答弁（古舘 陽総務課長）	8
質疑（小林たかや委員）	8
答弁（古舘 陽総務課長）	8
質疑（小林たかや委員）	8
答弁（加藤徹也管理課長）	9
答弁（古舘 陽総務課長）	9
質疑（小林たかや委員）	9
答弁（熊谷健一建設課長）	9
答弁（鈴木剛士延命化担当課長）	10
答弁（杉原幸次施設課長）	10
質疑（小林たかや委員）	10
答弁（杉原幸次施設課長）	10
質疑（小林たかや委員）	10
答弁（杉原幸次施設課長）	10

質疑（小林たかや委員）	11
答弁（小林幹明施設管理部長）	11
答弁（山崎孝明管理者）	12
質疑（小林たかや委員）	13
答弁（小林幹明施設管理部長）	13
意見（渡辺かつひろ委員）	13
採決	14
閉会	15

東京二十三区清掃一部事務組合議会 決算特別委員会

1 期 日 令和2年9月29日(火)

2 場 所 東京区政会館 201・202・203会議室

3 出席議員(21名)

1番	千代田区	小林たかや
3番	港区	二島豊司
4番	新宿区	吉住はるお
5番	文京区	海老澤敬子
6番	台東区	石塚 猛
7番	北区	渡辺かつひろ
8番	荒川区	明戸真弓美
9番	品川区	渡辺裕一
10番	目黒区	そうだ次郎
11番	大田区	塩野目正樹
12番	世田谷区	和田ひでとし
13番	渋谷区	下嶋倫朗
14番	中野区	高橋かずちか
15番	杉並区	井口かづ子
17番	板橋区	元山芳行
18番	練馬区	小泉純二
19番	墨田区	樋口敏郎
20番	江東区	若林しげる
21番	足立区	鹿浜 昭
22番	葛飾区	平田みつよし
23番	江戸川区	田中寿一

4 欠席議員(2名)

2番	中央区	押田まり子
16番	豊島区	村上宇一

5 出席説明員

管理者	山崎孝明
副管理者	深井祐子

監査委員	本 間 敏 明
総務部長	中 尾 正 巳
総務部調整担当部長	小 林 孝
総務部担当部長（総務課長事務取扱）	古 舘 陽
総務部担当部長（職員課長事務取扱）	渡 部 洋 一
清掃事業国際協力室長	八 十 島 護
施設管理部長	小 林 幹 明
処理技術担当部長	塚 越 浩
建設部長	岩 崎 豊
計画推進担当部長	清 水 英 樹
企画室長	森 田 昌 志
財政課長	初 瀬 司
清掃事業国際協力課長	松 浦 千 代 子
管理課長	加 藤 徹 也
技術課長	井 俣 弘 治
施設課長	杉 原 幸 次
計画推進課長	阿 閉 聡
会計管理者	江 部 信 夫

6 出席議会事務局職員

事務局長	栗 原 光 江
事務局次長	入 野 順 一
書記	佐 藤 雅 展
同	高 田 英 明

7 議題

- (1) 正副委員長の互選について
- (2) 議案審査 認定第 1 号 令和元年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計歳入歳出決算の認定について

開 会 (午後 3 時 1 5 分)

○栗原光江事務局長 事務局から申し上げます。

本日は、委員の選任後初めての委員会ですので、委員会条例第 6 条第 2 項の規定に基づき、杉並区の井口委員に正副委員長の互選までの職務をお願いいたします。

○井口かづ子臨時委員長 杉並区の井口でございます。正副委員長の互選まで職務を行います。よろしくお願いいたします。

開会前に、傍聴の許可についてお諮りをいたします。

傍聴人から当委員会の傍聴の申し出があった場合、これを許可したいと思っております。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○井口かづ子臨時委員長 異議なしと認め、傍聴の申し出があった場合は、傍聴を許可することといたします。

ただいまから、決算特別委員会を開会いたします。

本日の議題は、お手元に配付のとおりです。

本日は、21名の出席となっております。

これより議事に入ります。

1、「正副委員長の互選について」を議題といたします。

正副委員長の互選は、指名推選の方法により行い、指名は私から行いたいと思っておりますが、これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○井口かづ子臨時委員長 異議なしと認めます。

よって、正副委員長の互選は指名推選の方法により行い、指名は私が行うことに決定をいたしました。

委員長には吉住はるお委員を、副委員長には渡辺裕一委員を指名したいと思います。これに御異議ありませんか。

〔「異議なし」の声あり〕

○井口かづ子臨時委員長 異議なしと認めます。

よって、委員長には吉住はるお委員が、副委員長には渡辺裕一委員がそれぞれ選出されました。

それでは、吉住委員長には座席の移動をお願いいたします。

[委員長 着席]

○吉住はるお委員長 委員長に御推挙いただきました吉住です。それでは、よろしく
お願いをいたします。

議事を進行いたします。

「議案審査」を議題とします。

(1) 認定第1号「令和元年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計
歳入歳出決算の認定について」を議題といたします。

理事者の説明を求めます。

○中尾正巳総務部長 令和元年度一般会計歳入歳出決算につきまして、御説明いたし
ます。

議案として送付をいたしました、決算書、決算審査意見書、及び予算執
行の実績報告の冊子のうち、3冊目令和元年度予算執行の実績報告－主要
な施策の成果説明書－に基づき、御説明いたします。

まず、令和元年度の予算の執行においては、最小の経費をもって最大の
効果が得られるよう厳しい経済性、効率性を追求するとともに、安全で安
定的な中間処理を維持可能なものとするため、これまで培った技術力によ
る改善案を具現化させるなどの積極的な対応により、新たな課題に果敢に
取り組んでいくことを基本的な考え方といたしました。

それでは、内容の説明に入ります。

7ページ、一般会計歳入歳出決算総括をお開きください。

歳入決算額(A)は、855億6,817万8,783円、歳出決算額
(B)は、817億9,008万6,543円で歳入から歳出を差し引い
た額(C)は、37億7,809万2,240円でございます。今回、4,
519万2,000円を翌年度へ繰り越すべき財源(D)として、令和2
年度に繰り越しておりますので、一番下実質収支額(E)は、37億3,
290万240円となっております。

8ページ、9ページをお開きください。

歳入について、主なものを御説明いたします。

収入済額で、構成比の大きい順から申し上げます。

まず第1款分担金及び負担金でございます。

これは特別区の花分担金で、収入済額33億円、構成比は38.6%、当

組合における歳入の中核をなしております。

2点目は、第2款使用料及び手数料で、これは主に廃棄物処理手数料収入が占め、157億1,478万3,050円、構成比は18.4%となっております。

3点目は、第8款諸収入。こちらは、主にエネルギー売払収入が占めておりまして、113億1,135万3,177円、構成比では13.2%となっております。

表の一番下、歳入合計は、予算現額853億4,200万円に対し、収入済額は855億6,817万8,783円で、収入率は100.3%となっております。

10ページ、11ページをお開きください。

歳出につきまして、主なものを御説明いたします。

支出済額で、構成比の大きい順から申し上げます。

まず第3款清掃費でございます。これは清掃工場、不燃・粗大ごみ処理施設等の運営費及び施設整備費で、支出済額は677億7,434万6,481円で、執行率は95.8%、構成比は82.9%となっております。

2点目は、第5款諸支出金で、財政調整基金への積立てで、60億46万7,000円、構成比は7.3%となっております。

3点目は、第2款総務費で、本庁管理に要した経費などで、決算額は41億7,641万1,708円、執行率は94%、構成比は5.1%となっております。

表の一番下、歳出合計は、予算現額853億4,200万円に対し、支出済額は817億9,008万6,543円で、執行率は95.8%となっております。

続きまして、12ページ、13ページ、款別・年度別決算状況をお開きください。

まず、歳入ですが、上段の表の一番右、令和元年度の歳入合計欄では、前年度に比べ11.2%の増となっております。これは第3款国庫支出金や、第9款組合債の増などが主な理由でございます。

次の下の表の歳出合計は、前年度と比べ11.8%の増となっております。これは第3款清掃費のうち、第2項施設整備費が光が丘清掃工場建替工事等の進捗や、大田清掃工場第一工場再稼働工事の開始などによる増が

主な理由でございます。これら、清掃工場建替工事等の整備の状況により、歳出を大きく増減させる点が当組合財政の一つの大きな特徴となっております。

14ページ、15ページ、性質別・年度別決算状況をお開きください。

下の表の歳出ですが、人件費及び公債費で構成される義務的経費の決算額は、一番右の令和元年度の欄では、142億1,594万円で、構成比は17.4%、前年度と比べ1.7%の増、清掃工場建替などの投資的経費につきましては、227億971万4,000円、構成比では27.8%、前年度と比べ37.0%の増。また、物件費をはじめとする、その他の経費は、448億6,443万3,000円で、構成比は54.8%、前年度と比べ5.3%の増となっております。

18ページ、19ページ、組合債現在高調書をお開きください。

令和元年度末現在高は、461億2,237万2,000円で、前年度末に比べ、38億457万6,000円増加しております。施設整備費が増となる中、組合債発行により財源を確保することで、特別区分担金の抑制に努めております。

続いて、ページが飛びますが、83ページをお開きください。

中ほどの表、財政調整基金の状況でございます。令和元年度末現在高は、355億4,800万円で、前年度末に比べ、27億7,200万円減少しております。基金を活用し、分担金の平準化に努めた結果、積立金以上の繰入額となったためです。

以上で、令和元年度決算の説明とさせていただきます。

なお、決算審査意見書におきまして、監査委員より決算審査を行った結果、いずれも法令に適合し、計数上過誤のないことを認めたとする報告をいただいております。

以上で説明を終わります。

○吉住はるお委員長 理事者の説明は終わりました。

これより質疑・意見に入りますが、委員の皆様をお願いします。質疑がある場合は、あらかじめ挙手をお願いします。また、発言に際しましては、質問内容の掲載されている資料名及び掲載ページ、項目などを明確にし、質疑を終了する際には、質疑を終わる旨の発言をお願いします。

次に、理事者の皆様をお願いします。答弁の際には、職名を明確に述べ

ていただき、簡潔で明瞭な答弁をお願いします。

また、委員会の終了時間の目安は、午後4時10分頃ですので、円滑な会議の運営に御協力をお願いします。

それでは、質疑・意見のある方は挙手をお願いします。

○小林たかや委員（千代田区） それでは、質問させていただきます。

総務費、総務管理費、一般管理費、54ページの2、広報・広聴費のうちの事業パンフレット印刷費272万5,809円のところの質問をいたします。

これについては、何種類のものがある、何枚刷られて、どのように何部ずつ配布したのか教えてください。併せて、この年度で在庫があったのかどうか、お答えください。

○古舘 陽総務課長 こちらのパンフレット印刷費でございますけれども、「ごみれば」という冊子でございますが、こちらの経費が主なものでございます。

今の在庫状況等については、申し訳ございません、手元に資料がございませんので後ほど説明させていただきたいと思っております。

○小林たかや委員（千代田区） ごみれば以外に刷っていると思うのですが、在庫等はどのような管理をなさっておられるのでしょうか。すみません、お答えしていただけないのはいいんですけれども、アバウトで結構ですから何部くらい刷って何部ずつくらい、配布したのかということと、在庫はあるのかという質問。ごみれば以外に刷っていますか。

○古舘 陽総務課長 ごみればも幾つか種類がございますけれども、一般的な日本語で一般の方にお配りしているごみれば。それから、お子様の方にお配りをしております、ごみればキッズですとか、中国語、韓国語、英語の外国版、こういったもの全て総まとめで「ごみれば」でございますけれども、そういったものを印刷をしてございます。各在庫につきましては、清掃工場に配布をしたものについて各清掃工場で使っておりますので、そこでの在庫というのをそれぞれ確認をしているというところでございます。印刷については、細かいところはすみません、正確な数字ではございませんけれども、全部で約数万冊印刷をしているというような状況でございます。

○小林たかや委員（千代田区） この前いただいたこれですけれども、清掃工場が困っているよという、こういうのもこの印刷に入っているのでしょうか。

○古舘 陽総務課長 今、御指摘の経費については、ごみればの関係だけでございます。所管のそれぞれのところで印刷しているものもございまして、今のお持ちの清掃工場困っていますという冊子については、施設管理部のほうで印刷をしているものでございます。

○小林たかや委員（千代田区） 単純な疑問なんですけれども、これ非常によくて、もっとどんどん印刷してもらいたいなと思っておりましてですね。それで、よく見たのですけれども、この前配ってもらった発行日が平成29年2月発行となっておりますので、30年とか31年は刷っていないのかなということ、いいです、これは追及する話ではないので。こういうものについて、非常にいいものなので刷り増しもされると思うのですけれども、印刷物というのは、管理をちゃんとしないと先ほど言ったようにどうなっているか分からなくなってしまうので、ここは今後の話で結構なんですけれども、この前いただいたすごくいいものがすごく古かった、もっと新しいものがあるのかなと思った疑問もあったんですね。それで、お伺いしておるので、その辺のことをお答えいただければよろしいのですけれど。

○古舘 陽総務課長 まず、ごみれば何かの在庫に関しましては、多分今年度について言うと、清掃工場の見学会が今できないような状態になってございますので、今、在庫などを一応調べまして、手元に何枚という資料はないのですが、取りあえず余った分についてはそのまま使うようにして、毎年度毎年度少し数字が変わる部分がありますので、それについては、別冊を作って在庫分もきちんと使おうということで考えているというところでございます。あと、委員の今、お持ちいただきあった「工場は困っています！」の冊子ですけれども、実はこれ結構工場にも配っているのですけれども、工場によって足りなくなってしまうということもありますので、そういった場合には、庁内印刷等で対応させていただいているというような現状でございます。

○小林たかや委員（千代田区） 「困っています清掃工場」のこれは、すごくいいので私も、もらいまして議会の中で配りました。いろいろなマンションにも置いたほうがいいと思うのでこれできれば、29年度2月発行なので最新のものを作ってください、お配りいただくとより工場が円滑に進むかと思うので、その辺はお願いしたいと思います。

○加藤徹也管理課長 施設管理部の管理課長でございます。

今、御意見いただきました「困っています清掃工場」については、施設管理部のほうで発行しております。29年ということですがけれども、その後、先ほど総務課長からありましたように、少なくなると刷り増しをしている状況でございます。今、御意見いただきましたように、今年に入りましてから不適物による工場の停止が続いております、先日も御報告させていただきましたように、鉄骨の混入等ございますので、より、区民の方、業者の方にインパクトを与えるようなよりよい広告物として今後検討していきたいと思っております。

以上でございます。

○古舘 陽総務課長 先ほどのごみればの制作枚数でございます、日本語版で3万6,000、そのほか英語版で6,000、中国語版が5,800、それから増刷でしておりますけれども、中国版は途中で足りなくなったので昨年度については、4,000部さらに増刷をしております。それから、ごみればキッズというものについて、ごみればキッズについては、7万2,000部ほど印刷をさせていただいております。

失礼いたしました。

○小林たかや委員（千代田区） 続けて、次の質問にまいります。

清掃費71ページ、清掃費、施設整備費、清掃工場整備費の光が丘清掃工場、目黒清掃工場と有明清掃工場のところですか。

前回いただきました、一般会計決算概要の主な歳出決算の中の（3）です。一般廃棄物処理基本計画に基づく施設整備等、清掃工場整備費、光が丘、目黒清掃工場建替工事、有明清掃工場延命化工事、大田清掃工場第一工場再稼働工事などというところで、決算額が224億になっておりまして、前年度比36%の増になっております。これについては、非常に増えているような理由は何なのかということと、稼働はこれだけ増えたことによって、どんな影響を及ぼしたか、人的に、機材的に、搬入など含めてどんな状況だったのかお答えいただきたいのですが。

○熊谷健一建設課長 まず、光が丘と光が丘清掃工場と目黒工場につきましては、建替工事でございますので、私、建設課長から答弁させていただきます。

毎年の工事の進捗状況が、工場ごとにそれぞれ違いますので、毎年の出来高と言われますけれども、その部分が変わってきております。ですので、

年度別の事業費が変わってくるというようなことでございます。

○鈴木剛士延命化担当課長 私の方から、有明清掃工場の延命化工事について御説明させていただきます。

有明清掃工場は、2か年にわたって工事を行っているものでございます。昨年度は、ちょうど2か年目に当たるということもございます。一炉ずつ工事は行っておりますが、2年目のほうが性能確認という部分で若干増加をしているという状況でございます。工事に関わる影響というものは、延命化工事中に搬入量が少なくなったということがございました。

以上でございます。

○杉原幸次施設課長 大田第一工場の再稼働事業につきましても、建設と同じように工場の進捗状況によって年ごとに金額が異なりますので、それによる決算額の違いということでございます。

以上でございます。

○小林たかや委員（千代田区） 進捗状況により増えたということでございますけれども、僕が一つ疑問に思っているのは、この工場の稼働に影響しますよねいろいろ、今の部分というのは。で、この前、御報告があったときに江戸川清掃工場の補給パーツがなくて工場稼働できなかったということがありましたよね。補給パーツが準備できていなかった、で、稼働ができなかったということがあったのですが、こういう工事が増えたことには影響はなかったのでしょうか。全く補給パーツがなかったというのは、こういう影響ではなかったということなんでしょう。

○杉原幸次施設課長 江戸川工場の話は、少し外れるかもしれませんが、今回整備をしている大田第一ですとか、有明の延命化、こういったものについては、一般廃棄物処理基本計画の中で、こういった工事をしても23区のごみが安定的に処理できるという中で計画をしておりますので、ごみの処理につきましては、影響は出てないということでございます。

○小林たかや委員（千代田区） ということは、単に江戸川工場の補給パーツがなかったということは、準備が単純に足りなくなっただけという原因と解釈してよろしいのですか。影響はなかったということですか。

○杉原幸次施設課長 予備品がなく稼働に影響があったということについては、江戸川特有の状況であったということでございます。

○小林たかや委員（千代田区） 分かりました。

引き続き、全体になることなのでお答えいただきたいのですが、予算編成時期なので聞いておきたいのですが、環境省が中央環境審議会循環型社会部会産業構造審査会産業技術環境分科会で、今後のプラスチック、資源、循環施策の基本的方向性というのを出しているのは御存じかと思うのですが、その中で、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により衛生目的としたプラスチックの果たす役割が再確認されるとともに、エッセンシャルユースの増加など、プラスチックの排出実態の変化等も生じていると。要するに、プラスチック容器の個別化で、ワンウェイで大量のプラスチックごみが発生しているということなのですね。それで、プラスチックの資源回収時に分別回収をしている区がありますよね、千代田区なんかしているのですが、何区かしていると思うのですが、その際に、市町村から出されるプラスチックごみの資源回収とリサイクル、それから、事業者から排出されるプラスチック資源のリサイクルができる環境を整備していくということがあると思うのですが、その実際は、一組としては今後、この分別回収、プラスチックのリサイクルを含めた分別回収というのは、どういうふうに位置づけられているのか、23区と事業者、どういうふうに位置づけられているのか、今の御見解を示してほしいのです。

○小林幹明施設管理部長 施設管理部長でございます。今、委員から御指摘があった点でございますけれども、国が御指摘のとおり、中環審、それから産構審の共同部会で今後のプラスチックについて、お話をされていると私も承知しているところでございます。ただ、社会システムとして、そのプラスチックのリサイクルを回していくというのがかなり課題が多いということで、今年度中に結論を出すというふうには聞いておりますけれども、なかなか難しい面もあると聞いており、これが現状の認識でございます。じゃあ、果たしてそのプラスチックがリサイクルが始まったとき、どういうふうになるかということについては、まず、收拾の段階でリサイクルに回るわけですから、分別のやり方はちょっと別にしましても、ごみ量が減になるということは明らかでございます。そうすると、今度はごみの組成が変わってまいりますので、それに合わせた施設管理も今後考えていかなければならないというふうに今のところ思っています。ただ、先ほども申しましたように、長期にわたるシステムの改革になってまいりますので、少しずつ

検討を重ねていく必要があるのではないかというふうに現在思っているところでございます。

以上でございます。

すみません、一つ付け足しをさせていただきますと、収集の部分につきましては、23区さんが役割分担をされておりますので、その部分についても調整をしていく必要があると。ごみ量の変動等あるというふうに思っております。

以上でございます。

○山崎孝明管理者 小林委員の非常に的確な大事な点について御指摘いただきました。

今、お話のプラスチックのごみでございますが、清掃一組は、これは、区長会のほうから負託されて、処理・処分をしているのですね。そうしますと、その内容について決めるのは区長会でございます、ここで一組のほうに、こうすることがいいとか、こうすべきだとかということは、御意見としては承りますが、その返事は彼らにはちょっとできないのだろうと、一組としてはそう思います。区長会の会長もしておりますので、私から申し上げますと、23区がそれぞれ共同で今、23区のごみ処理をやっているわけで、海洋プラスチックとか、あるいはSDGsだとか、環境問題だとかいろいろなそのことでリサイクルについては、国も都もかなりいろいろな意見が出てきて、計画もあるいは目標値も立てて、今、やっているところですが、23区の場合には、それぞれの区が独自の考え方で、それを集約して区長会が取りまとめをしながらやっているわけです。

それで、処理・処分するためには、分担金を出してそれを負託をしているのが一組でございます。そこで区長会としては、現在プラスチックの容器についてリサイクルをしている区が23区のうち、12区です。11区は、燃やしていると。で、このことについては、いろいろ議論はあるのですが、なかなかそれぞれの区の考え方がありまして、あるいは経費の問題もありまして、まだ、全区が統一してプラのリサイクルに統一してできる状況ではございません。残念ながら11区さんは、独自な方法を考えていらっしゃる、実行しているということでございます。

ですから、私どもからすれば、やはり今こうした環境が重視される時代にプラもリサイクルをすべきだというふうに考えている部分もあるのですが、なかなか23区はそれに向かって全員がというところまでは、強制的

にはできないのが現状でございます。ですから、一組に負託をして、焼却をしている部分とそれから、それをどういうものを集めて何をリサイクルするか。区によっては、瓶・缶・ペットボトルのほかにも、古紙だとか古い布だとか、いろいろなものを乾電池だとか、そういったものを回収している区もあるけれども、プラについては、燃やしたほうが良いという考えの区もありまして、今、そういう現状があるということを是非御承知おきいただきたいというふうに思います。

○小林たかや委員（千代田区） 山崎管理者ありがとうございます。知らない部分がありましたので大変失礼いたしました。今、御説明いただいたので、もちろん各区の状況があるので、単純な疑問としてはやはり、これからは素材も変わってくるだろうし、いろいろ業界としても対応してこられると思うのです。その過渡期に今、コロナがあったときに、やはり本当に個別包装でプラがすごく増えていると実感しているので、その点についてどうしたらいいかなという質問でした。全体的な問題はやはり、国の問題もありますし、それから今、23区の区長会の話もございますので、それは理解しておりますのでその辺はよろしく願います。あと、事業者のほうは、これも区長会なのでしょうかね、事業者の自主回収。事業者が持ち込む部分は、リサイクルは。その部分には関係ないのですかね。

○小林幹明施設管理部長 委員の御質問は、事業系のプラの問題で、事業系のプラになりますと、これまた産業廃棄物の分野でリサイクルをされているというところでございます。私どもは、各区さんと力を併せて一般廃棄物の分野の家庭系、それから事業系の可燃を中心としたような処理をさせていただきますので、プラについては繰返しになりますが、産業廃棄物ということで都道府県、国が考えていくということになると思います。

○吉住はるお委員長 ほかに意見・質疑はございませんでしょうか。

○渡辺かつひろ委員（北区） 北区の渡辺でございます。よろしくお願いいたします。

答弁は求めません。今、山崎管理者からお話をいただきました、くしくも今日、都議会本会議でやはり、この清掃事務に関しての質疑が自民党から代表質問の中で行われているかと思えます。区民側からしてみても、東京都の仕組み非常に分かりにくい状況になっておりまして、今一番の課題というのは、やはりこの埋立地があと何年持つのかと。で、どのような形でごみを減量していかなければいけないかということ、都民全体で支えて

いかなければいけない問題だというふうに認識をしております。先ほど、広報費のことの質疑が小林委員のほうからございましたけれども、是非、分かりやすい広報で、都民に対して今、一番何を求めているのか。東京都と一組と区長会と、そして私たち議長会、それぞれが協力をしてしっかりとこの事業先行きのこの期間が決まってしまうものに対して、どうこれを先延ばしをしていくのか。そして、その上でいずれいっばいになってしまう時期がありますので、その次の算段として何を求めていかなければいけないのか。そこは、明確に都民に分かるような仕組みをつくって告知していかなければいけない時期だと感じております。今、北区も現在決算委員会の最中ですが、本件については、区のほうとも議会側といろいろな形で議論を深めているところです。是非、その部分は責任のなすり合いをしている時期ではもうないかと思っておりますので、しっかり御対応をいただき、それぞれのところで目指すべき方向性を明確に定めて、将来のあるべき姿を告知していけるように、御対応いただきたいというふうに思っております。

先ほど、小林委員のほうからお話がありました広報誌に対しては、非常に分かりやすいものだったと思っております。是非、その点はお願いをいたしたく答弁を求めるものではないかと思っておりますので、これで発言を終わらせていただきます。

○吉住はるお委員長 渡辺委員、答弁よろしいのですね。

ほかに、質疑・意見はございませんでしょうか。よろしいですか。

〔「なし」の声あり〕

○吉住はるお委員長 ほかに質疑・意見がないようですので、質疑・意見を終わります。

これより、採決に入ります。採決は挙手により行います。

認定案第1号、令和元年度東京二十三区清掃一部事務組合一般会計歳入歳出決算の認定についてを認定することに賛成の方の挙手を求めます。

〔挙手全員〕

○吉住はるお委員長 全員賛成であります。

よって、認定第1号は認定すべきものと決定いたしました。

なお、本特別委員会は、全議員で構成しておりますので、本会議における委員長からの報告は省略いたします。

以上をもちまして、本日の議題は全て終了いたしました。

この際、何か発言はありませんか。

〔「なし」の声あり〕

○吉住はるお委員長 特に発言がないようですので、これをもちまして、決算特別委員会を閉会いたします。

閉 会（午後 3 時 5 2 分）

記録署名 決算特別委員長.....
(吉住 はるお)

令和2年
東京二十三区清掃一部事務組合議会
決算特別委員会記録

令和2年11月発行

編集発行 東京二十三区清掃一部事務組合議会事務局
千代田区飯田橋3-5-1 東京区政会館20階
電話 03(5210)9729

印刷物登録
令和2年度 第67号

この冊子は再生紙を使用しています。